

平成28年 1月12日  
四国電力株式会社

## 伊方発電所における通報連絡事象（平成27年12月分）について

平成27年12月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の2件です。これらの事象による環境への放射能の影響はありませんでした。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1．伊方発電所3号機における作業員の負傷について	12月14日	12月14日	A
2．伊方発電所1号機海水系統からの海水の漏えいについて	12月15日	12月15日	A

県の公表区分 A：即公表  
B：48時間以内に公表  
C：翌月10日に公表

なお、今月は過去に発生した通報連絡事象についての原因と対策をまとめた報告書の提出はありませんでした。

（別紙）伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成27年12月分）

以 上

## 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成27年12月分）

### 1. 伊方発電所3号機における作業員の負傷について

定期検査中の伊方発電所3号機管理区域内において、12月12日に荷物運搬中の作業員が階段にて足を踏み外し、右くるぶし付近に痛みがあったことから、念のため病院にて診察を受けたところ、後日、総合病院で再診察を受けるよう指示されていました。

12月14日、別の病院で診察を受けた結果、「右足関節内果 骨折（入院加療）」と診断されました。

なお、当該作業員の被ばく、汚染はありませんでした。

内果

足首の内側のくるぶし

## 2. 伊方発電所1号機 海水系統からの海水の漏えいについて

定期検査中の伊方発電所1号機の中央制御室において、12月15日11時08分、タービン建家内排水槽水位高の信号が発信しました。このため、運転員が現地を確認したところ、タービン建家地下1階（管理区域外）において、海水が漏えいしていることを確認しました。

調査の結果、水張中の系統との隔離のために閉止していた電動弁から海水が漏えいし、点検中の海水配管の開放部から漏れ出たことを確認しました。

その後、海水の水張を停止し、同日11時40分頃に海水の漏えいは停止しています。また、漏えいした海水は、同日14時21分に全量(約94 m<sup>3</sup>)を回収し、総合排水処理装置にて処理しました。

当該電動弁の分解点検および開閉試験の結果、弁本体に傷等の異常はありませんでしたが、弁のリミットスイッチが全閉位置の時に、実際には弁開度が微開状態であることを確認しました。

このため、リミットスイッチの調整などを実施し、12月22日13時30分、当該電動弁から漏えいのないことを確認しました。今後、漏えいした原因について、引き続き、調査します。本事象による環境への影響はありません。

リミットスイッチ：弁の開閉状態を検出する器具

伊方発電所1号機 海水系統概略図

